

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: <http://www.konbukuroike.com>

2024年12月

第128号

主な予定

12月22日(日)

13:00~15:30

忘年会

於：管理棟周辺

2024年11月3日(日)

「市民活動フェスタ in 柏の葉」に参加して

萩原 秀夫

柏市制70周年を記念して、TX 柏の葉キャンパス駅周辺で市民活動フェスタが初開催されました。柏の葉地域の新しい住民の方々に、こんぶくろ池自然博物公園を知っていただく良い機会だと思い、当NPOもブースを出して公園の紹介を行いました。

この市民活動フェスタは昔から柏駅周辺では5月に行われているイベントで、当NPOも10年ほど前は何回か参加していたことがあります。公園の紹介はもちろんですが、当時事務局長だった古橋さんを中心に、伯耆田さん、駒嶺さん、市川さん、岡本さんなどと竹とんぼ、竹のゴム鉄砲などを作るワークショップを行い、子供達の行列ができる大人気のブースで数年参加していました。

しかし、その工作準備が大変なこと（ほぼ古橋さんが一人で行っていました）、場所も公園からと離れていることもあり最近には参加していませんでした。

今回はテント半分のスペース（約1.8m四方）ということもあり、公園内の植物、動物、鳥類、昆虫などのパネル展示の他、リーフレット等を置いて公園を知ってもらうブースとしました。

当日は気候も穏やかで散歩日和であり、近くの千葉大ではセンター祭が行われていたせいか人出も多く、NPOのブースにも多くの方が立ち寄ってくれました。

公園の名前は知っていて行ってみたいと思っていたが場所が分からなかったとか、一号近隣公園しか知らなかったとか、昆虫や鳥が好きなのが、是非今度行ってみたいとか、まだまだこんぶくろ池自然博物公園を知らない地元の方も意外と多く、宣伝はできたのではないかと思います。

来年以降も継続的に行われるかは分かりませんが、柏の葉地域で活動する当NPOとしては、地元の方々に公園に親しんでいただけるよう、また我々の活動に参加してくれる会員を増やすためにも、今後もこのようなイベントには無理のない範囲で参加できればと思います。

当日イベントの企画段階からご協力いただいた海野さんをはじめ、当日お手伝いいただいた会員の皆さんありがとうございました。



2024年11月24日（日） 「森のクラフトワークショップ」

海野 直樹

11月24日のワークショップにて、どんぐり部門の担当をさせていただきました。どんぐり部門では今回「どんぐりストラップ」と「どんぐりクラフト」を実施しました。私は日頃より木の実やどんぐり等を蒐集しており、今回は初めてということもあり、それらの資材を提供させていただきました。

当日午前どんぐり部門のスタッフの皆様にご集合いただき、事前レクチャーを行いました。今回はクラフト部門で接着用具として、先が高温となるグルーガンを使用するため使用方法、安全対策とストラップの作成方法をご理解いただくためです。また、スタッフの皆様には「子供たちの作品がどんなものであれ、とにかく完成したら褒めてやってほしい、それが自信につながるし、これをきっかけに自然への興味が芽生えるかもしれない」とお願いしました。

午後1時開始当初は参加者の出足は鈍かったのですが、次第に増え、その後はストラップもクラフトもほとんどフル回転状態となり、順番待ちが出るまでの状況になりました。

ストラップもクラフトも子供たちは素晴らしい作品を作っていました。私は主としてクラフト部門を担当しました。予め作成の参考としていただくため、いくつかクラフト作品を作って展示しておきましたが、「これらに囚われず、作りたいものを自由に作っていい」と子供たちには話しました。

子供たちはその自由な創造性を発揮し、私たち大人が想像もしないような驚きの作品を次々と完成していききました。一つ一つにそれぞれストーリーが感じられ、親も皆嬉しそうな顔をしています。

一方でなかなか作ろうとしない子供もいました。ある一人の子が気になりました。土台になる木の輪切りを前にしても、どんぐりをもってあそんでいるだけでなかなか作ろうとしません。最初は促していた親も半ばあきらめていました。「なんでもいいよ。好きなように作って





みようよ」と促して様子を見ていました。そのうちにその子は木の輪切りに緑の目玉シールを二つ貼りました。「目?」、次に真ん中にクヌギの大きなどんぐりをグルーガンで接着しました。「鼻?」、そして普通は目玉などに使うフウセンカズラの小さな黒い種を10粒以上手に取り、「口にする」といってどんぐりの下にボンドで貼り付けました。最後にユリノキの種を眉毛として目玉シールの上に斜めに貼り付けました。眉毛のせいで、ちょっと怒ったような表情の顔が完成しました。これがこの子の考えたストーリーだったのです。素晴らしいと思いました。子供は満足した表情を浮かべ、親もいつの間にか笑顔になっていました。

葉っぱスタンプでも素晴らしいデザインのバッグがたくさん生まれていたことでしょう。今回のワークショップをきっかけに、参加した子供たちが少しでも自然に興味を抱き、またこんぶくろ池に遊びに来てくれば幸いです。どんぐり、スタンプ、受付、駐車場、連絡係、撮影等参加した全てのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。

令和六年秋季こんぶくろ池句会・歌会作品集

世話人 松田 和生

俳句の部

秋風や娘の紺のワンピース
 羽衣をまとった種は山の芋
 小鳥来て低い姿勢に吾と猫
 炎天や広報告げる迷い人
 猿酒に一人まどろむ宵の口
 つぎつぎと実りの秋に新ぶどう
 晩酌のツマミはいつも夏野菜
 栗の木の銘板胸に誇らしげ
 栗蹴って小さき自分に再会す
 日が落ちてさびしく昇る秋の月
 落ち葉道見上げる空に紅の葉が
 晩秋に学び舎のひとと歩みけり
 鐘が鳴る熊野古道に曼殊沙華
 鴨たちに 再会できる時近し
 てっぺんで 獲物を狙う百舌鳥一羽
 里よりの新米香る夕餉かな
 迫りくる秋雲高し白根山
 どんぐりさん大切なおぼうしどこいった
 雑木林金黄赤色秋の空
 さりげなく木陰に誘うテングタケ

あおはもゆ
 あおはもゆ
 あおはもゆ
 安曇野人
 安曇野人
 安曇野人
 安曇野人
 木下勇二
 木下勇二
 権兵衛
 権兵衛
 シムラ
 昇笑
 中川望
 中川望
 ノー・ボール
 秀夫
 hico
 まさえ
 わらしべ

短歌の部

メジャーでは計測不能なオオタニの
 ボールのかなたになびく白雲
 松の枝の緑を巡る鳶の葉の

昇笑

夕日に映えて赤く彩る ダイサギの歩む姿は バレリーナ	Q太郎
流れる川は 水上スレージ 毎朝の 一期一会の鳥たちは	中川望
若さを保つ 妙薬なり ありがたや里より届く新米の	中川望
湯げの香りよ今年は更に 北風にイチョウ舞いたる黒瓦	ノー・ボール
彩り添える初冬の空	秀夫
秋高し広がる青に黄を照らし 葉を落とし待つナラの生き方	まさえ
女郎花の群れ咲く野道をたどり行けば ススキの波が吾を迎えり	わらしべ

あしがき

今年は厳しい残暑を引きずり束の間の秋でしたが、作者それぞれの持ち味を生かしたオリジナリティとリアリティが光る多数の作品の応募がありました。今回は、自然の森の仲間たち、延べ13名の方から俳句二十句、短歌八首に及ぶ作品が寄せられました。

もしかして、自分はそんな柄じゃないと思っている読者がおられるかもしれませんが、実は作者の皆さんは、全員が全くの素人から始めています。未投稿の読者のみなさんもここで思い切って俳句・短歌の道へ一歩踏みだしてみませんか。きっと新たな世界が開かれることでしょう。

次回は冬季（令和6年12月～令和7年2月）になりますが、思い立ったが吉日、事務所前の投稿箱の他、世話人あてのメールやメモでも結構ですので応募をお持ちしています。

11月理事会

(日時) 2024年11月23日(土) 10:00～13:30
 (場所) 管理棟
 (出席者) 議長(理事長): 萩原
 出席者(理事) 中川・徳永・上田(書記)
 (顧問) 岡本

1. 審議検討・確認事項

- (1) (11/24)「森のクラフトワークショップ」・「柏民話語りイベント」の直前状況確認について
 - ・ 準備状況の確認、また天候不順も考慮した会場設営について確認を行った。
- (2) リーフレットの次回発注について
 - ・ A4簡易版を作成する。掲載内容は、現行リーフレットの地図および外面表裏のみとする。
 - ・ 情報量は現行どおりとなる廉価版の作成にむけて準備を進める。

- (3) ユニフォーム L サイズの購入について
 - ・ 2023/5 に M20 着・ L10 着の計 30 着を購入し、現在残りが M14 着・ L3 着になった。
 - ・ L サイズの残りが 3 着のみになったので、10 着を購入する。
- (4) 山口さんへの謝礼について
 - ・ イベントや体験会の度にチラシ作成をお願いしているサポーターに感謝の品を渡す。
- (5) 下半期の検討課題について
 - ・ 来年度の体制、および理事の負担を考慮した理事会の運営等について審議した。
- (6) (10/27 (日), 11/2 (土), 11/17 (日)) 「里山の保全活動体験会」の実施結果報告について
 - ・ 申込者：9 名 参加者 10/27：3 名 11/2：雨天中止
11/17：5 名 入会者 2 名
- (7) (2/23 (日)、3/1 (土)、3/16 (日)) 「里山の保全活動体験会」の開催について
 - ・ 広報かしわ 2 月号 (原稿〆切 12/4 (水)) 掲載記事内容を協議した。
 - ・ 12 月理事会でチラシ案および広報の日程等について審議する。
- (8) 12～1 月活動計画
 - ・ 情報を共有した。
- (9) 12 月の通信記事
(10)
 - ・ 情報を共有した。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

新入会員紹介

たご まさき
田子 真樹さん



参加動機：入会している人に誘われたのがキッカケ。親の仕事場が近いため、何回か来たことがあり楽しかったら。

趣味・好きなこと：ガンブラ

取り組んでみたいこと・分野：生物調査、生態系調査

ひとこと：昆虫が好きで生物に興味があるのでお願いします。